

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年12月9日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年12月9日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【高性能多核種除去設備の苛性ソーダ補給ポンプ用電動機の誤結線について】 電気設備点検手入工事において、協力企業作業員が高性能多核種除去設備の苛性ソーダ補給ポンプ用電動機の分解点検前に、電動機の結線状態を確認するため手回しによる相回転方向確認を実施したところ、誤結線があることを確認。 現地据付時に電動機の単体試験を未実施であること、据付後から現在までに運転実績がないことから、現地据付時に誤結線したと推定。 当該電動機については、正規な結線に復旧済み。 今後、再発防止対策を検討。</p>	GⅢ	12月3日
2	<p>【福島県いわき市小名浜港沖における水温塩分計の遺失について】 協力企業作業員が、小名浜港沖合3kmにて海水サンプリングを実施中に水温塩分計を遺失。 水温塩分計をロープに固縛して海中に垂下し、測定終了後、ロープを巻き上げ回収しようとしたところ、固縛していた水温塩分計が遺失していたもの。 福島海上保安部に連絡し、航路上でないこと、および、海中にロープが残っていないことから、他船舶への影響がないため測定器の回収は不要であるとの返答を受けた。 今後、再発防止対策を検討。</p>	GⅢ	12月4日